

はじまりの樹の神話

劇団四季の新作ファミリーミュージカル

『はじまりの樹の神話』こそあどの森の物語』

人物相関図

『はじまりの樹の神話』こそあどの森の物語』はこそあどの森で暮らす主人公・スキッパーと大昔から来た少女・ハシバミの交流を通して、人と人とのつながりの大切さを描く、劇団四季のオリジナルファミリーミュージカル最新作！

このミュージカルを通して伝えられるテーマは、「思いや考えは、必ず相手に伝わる」。内気で自分一人だけの世界を楽しんでいたスキッパーは、ハシバミを助け出したことをきっかけに「いのちのつながり」について学び、「ハシバミのために力になりたい」と考えるようになります。そして、勇気を出して想いを仲間に伝え、行動することで、自分の世界を広げていく。

ものがたり ～STORY～

緑ゆたかな木々が生い茂る森。主人公の少年・スキッパーは、森の住人たちからの誘いに乗ることなく、家で本を読みながら一人の時間を楽しんで暮らしていました。

ある夜、スキッパーの家にしつぽが光る不思議なキツネ・ホタルギツネが訪ねてきます。「死にそうな子を助けてほしい」――

一緒に森の奥に向かうと、巨大な樹に少女が両手を縛り付けられていました。少女を助け、急いで降りて振り返ると、もう樹の姿はなく……。

少女の名はハシバミ。大昔から来たというその女の子は、リュウの怒りを鎮めるためのいけにえとして巨大な樹に捧げられたといいます。

事情を知った森の住人たちはハシバミを優しく迎え入れ楽しい日々を送りますが、ある日スキッパーに

「私は村に戻らなくてはならない」と告げます。「過去に戻り、逃げずに戦いたい」というハシバミに、危険だからと反対する住人たち。

そのときスキッパーは――。

助けを求める

ホタルギツネ

光るしつぽを持ち、人の言葉を話すキツネ。ひょんなことからハシバミの危機を知り、彼女を救うようスキッパーに助けを求めに来る。

心で会話

はじまりの樹

ハシバミがしばられていた巨大な樹。トワイエによると、神話に登場する樹のようで……

スキッパー

本作の主人公。森の住人からの誘いに乗ることもなく、ひとりの時間を過ごすことが好きな少年。

ハシバミ

大昔から来た少女。リュウの生贄としてしばりつけられていたところ、スキッパーとホタルギツネに助けられる。

リュウの生贄として
しばられていた

助ける



トマト

ポット

スミレ

ギーコ

アケビ

スグリ

トワイエ

こそあどの
森の住人



稽古の様子 プチレポート

7月上旬、横浜市あざみ野の四季芸術センターではじめての「通し稽古」が行われました。この日まで、シーンごとに区切った稽古を重ね、芝居をつくり上げてきたカンパニー。緊張感に包まれる稽古場を見渡した演出の山下さんが「皆さん、固くなりそうですが、呼吸を大事にしてください」と声をかけ、スタートしました。



撮影：下坂敦俊

それぞれのキャストを見守った山下さんは「集中力のある稽古でした」と伝える一方、「今は失敗しても良いので、気負わずにもっとこの場に飛び込み、作品のドラマを感じてください」



撮影：下坂敦俊

「芝居は一人でできることではない。人と関わることが、生きていくこと。それが本作のテーマでもあります。自分の課題にとらわれ過ぎず、全員で一緒につくるという意識を持ちましょう」と改めて作品に臨む心構えが共有されました。

8月15日に幕をあげたばかりの『はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～』。壮大なファンタジーを所沢ミュージズでご堪能ください。

劇団四季新作ファミリーミュージカル **好評発売中!**

はじまりの樹の神話 ～こそあどの森の物語～

9月16日(木) 16:45開場 17:30開演 マーキーホール

S席:5,500円 S席小学生以下:3,300円

A席:3,300円 A席小学生以下:2,200円



ミュージズHP



劇団四季のファミリーミュージカル

『はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～』
が所沢にやってくる!

この秋、親子で本物の感動に会いに行こう!

劇団四季のファミリーミュージカルには30を超えるレパートリーがあります。いずれの作品も完成度は高く、大人向けの作品と比べても引けをとりません。面白くなければ席を離れてしまう、大人以上に厳しい「子どもたち」を相手に育まれてきたからです。台本、演出、音楽、美術…、全てに妥協は許されません。



人とのつながりの大切さを考えてみよう

作品のテーマは、「想いや考えは、必ず相手に伝わる」こと。人と人とのつながりを信じ、思いを伝えることの大切さです。主人公は勇気を出し、強い想いを仲間伝え、皆と力を合わせて、自分の世界を広げていくのです。人と人との関係がある種、分断されてしまったこの時代に、「人とのつながりの大切さ」を親子で考えてみませんか?



原作は、読み継がれるベストセラー

本作の原作は、日本児童文学界を代表する作家・岡田淳による「こそあどの森の物語」シリーズの第6巻「はじまりの樹の神話」(2001年理論社刊)。1994年刊行以来読み継がれ、数々の賞を受賞しシリーズ累計約70万部を売り上げた児童文学の傑作です。君の学校の図書館にもきっとあるはず。

